

蔵前工科 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

国語

科目

言語文化

教科： 国語

科目： 言語文化

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 AE 組

使用教科書： (新編言語文化 東京書籍)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】現代の文学では、漢字や語句の基礎・基本を定着させ、古文・漢文では口語・読み順・句法の基礎を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】様々なジャンルや時代の文章が現在につながっていることを理解し、物の見方、感じ方考え方をを文化的価値として認識する力を養い、伝え合う力を伸ばすとともに、思考力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで、言語文化に対する関心を深める。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の文学では、漢字や語句の基礎・基本を定着させ、古文・漢文では口語・読み順・句法の基礎を定着させる。	様々なジャンルや時代の文章が現在につながっていることを理解し、物の見方、感じ方考え方をを文化的価値として認識する力を養い、伝え合う力を伸ばすとともに、思考力を伸ばす。	心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで、言語文化に対する関心を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「美しい」ということ 赤木明登 【知識及び技能】 漢字の読みに慣れ、文章の中で適切に使用できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考えることができるようになる。	・指導事項 筆者の考えを読み取り、文章の要旨をつかむ。 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、漢字を文章の中で使うことができる。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考えることができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	古文に親しむ 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 音読を通して古典の世界に親しみ、古文のリズムや調子を感じ取る。	・指導事項 暗唱し、古文のリズムや調子を体感する。 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 音読を通して古典の世界に親しみ、古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学期	デューク 江國香織 【知識及び技能】 漢字の読みに慣れ、文章の中で適切に使用できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の構成や展開、表現の特色を理解し、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話しの展開を捉えようとする。	・指導事項 登場人物の気持ちを読み取り、主人公の気持ちの変化を理解する。 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、漢字を文章の中で使うことができる。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の構成や展開、表現の特色を理解し、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話しの展開を捉えようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	故事成語 守株 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しをもって、古典を学ぶ意味について考えを持っている。	・指導事項 漢文訓読に関する基本的な知識および漢文の基本構造を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考・判断・表現】 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉え、要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しをもって、古典を学ぶ意味について考えを持っている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学期	羅生門 芥川龍之介 【知識及び技能】 漢字の読みに慣れ、文章の中で適切に使用できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考える。	・指導事項 場面の変化に注意して登場人物の内面の変化を整理する。 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、漢字を文章の中で使うことができる。 【思考・判断・表現】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

合計

70

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

英語

科目

英語コミュニケーションⅠ

教科: 英語 科目: 英語コミュニケーションⅠ

単位 2

単位

対象学年組: 第 2 学年 組~ 組

使用教科書: (VISTA English Communication I 三省堂)

教科 英語 の目標:

【知識及び技能】基礎的な語彙、文法を理解し、これらを用いて適切な英文を書き、かつ発話することができる。

【思考力、判断力、表現力等】英文を読み、その趣旨をつかむことができると共に、基礎的な語彙。文法を用いて日常の出来事や自分の考え等を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に英語で発話しようことができると共に、周りと協力、協調して学習に取り組むことができる。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な文法、会話表現、基本単語を理解し、かつ正しいアクセント・発音で発話ができる。	英文を読み、その趣旨をつかむことができる。日常の出来事や自分の考えを英語で表現できる。各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。	日常授業で間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。ペアワーク、グループワークに積極的、協力的に参加することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 ・簡単な会話や英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・挨拶や相槌などを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・挨拶の仕方や教室英語、日付・天候の表現、基本単語などをリヒート練習する。 ・話す、書く、聞く活動をバランスを取りながら実施する。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。	○	○	○	5
B 単元 【知識及び技能】 ・簡単な会話や英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進行形を用いて自己表現、物事の状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・中学校における基礎の確認をする。Lesson3の内容を復習する。 ・進行形の用法を学ぶ。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	○	○	○	6
1 学期 C 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、一般動詞の現在形の用法を理解し、それらを用いて簡単な会話や英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一般動詞を用いて簡単な状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・中学校における基礎の確認をする。Lesson3の内容を復習する。 ・一般動詞現在形の肯定文、疑問文、否定文を学ぶ。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	○	○	○	7
D 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、前置詞や冠詞の用法を理解し、それらを用いて簡単な英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・中学校における基礎の確認をする。Look and Learn で三人称単数現在形について復習させる。 ・一般動詞現在形の肯定文、疑問文、否定文を学ぶ。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
E 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、be 動詞の用法、一般動詞の用法を再確認し、それらを用いて簡単な英文を書き、かつ話すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・be 動詞、一般動詞を用いて自己表現ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・1学期に学んだことを復習する。Lesson4-1の新種単語、本文の内容を理解する。 ・助動詞can, willの肯定文、疑問文、否定文の用法を理解する。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	○	○	○	5
F 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、現在進行形の用法を学び、それらを用いて簡単な英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一般動詞の用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	【指導事項】 ・Lesson4-2について学習する。新出単語、本文の内容を学ぶ。 ・動名詞が主語、目的語として用いられる用法を学ぶ。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	○	○	○	7
2 学期 G 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、助動詞の用法を、それらを用いて簡単な英文を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・助動詞can, must, mayの用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・Lesson4-3について学習する。新出単語、本文の内容を学ぶ。 ・動名詞が補語、前置詞の目的語として用いられる用法を学ぶ。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	○	○	○	7
H 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、複数形、代名詞、疑問文の用法を、それらを用いて簡単な英文を書き、かつ話すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数形、代名詞、疑問文の用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	【指導事項】 ・Lesson5-1について学習する。 ・不定詞の名詞的用法を学ぶ。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
I 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、過去形の用法を、それらを用いて簡単な英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去形の用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・Lesson5-2, 3について学習する。 ・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を学ぶ。 【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。 【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				15
3 学期 定期考査						1
						合計
						70

年間授業計画 様式(新学習指導要領対応)

高等学校 令和5 2 学年

科目

教科: 家庭 科目: 家庭基礎 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年 組 ~ 組
 教科担当者: (組: 相原幸子) (組:)
 使用教科書: (家庭707図説家庭基礎)

教科 家庭基礎 の目標:
 【知識及び技能】
 【思考力、判断力、表現力等】
 【学びに向かう力、人間性等】

科目 家庭基礎 家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための目衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。生活課題を主体的に解決し、生活の充実に資する力を身につける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元名: 自分らしい生き方と家族 【知識・技能】 ・ライフステージごとの発達課題や、ライフイベントについて理解する。 ・青年期の課題である生活的・経済的・精神的・性的自立について理解し、自覚できるようにする。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを多角的に理解する。 【思考・判断・表現】 ・職業につく意義や多様化する就業形態について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己分析をして、自分のことを紹介することができる。 ・将来の自分がつくる家族について考えようとしている。	・指導事項 1節 生涯発達する人生 2節 これからの人生をデザインする 3節 青年期を生きる 4節 生活を支える労働 5節 生活時間から見えてくるもの 6節 男女共同参画社会をめざして 7節 現代の家族 8節 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9節 家族に関する法律の理念と変化 10節 家族にかかわる法律 ・教材 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・家事労働について話合うことで、現在の自分について理解し、他者の意見を聞き、課題が見つければ改善することを考えられる。 ・自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。 ・自分にとっての家族について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己分析をして、周りの人に自分のことを紹介することができる。 ・人により家族と思う範囲や家族形態が異なることについてわかろうとしている。将来の自分がつくる家族について考えようとしている。 ・法律と自分のかかわりについて理解し、成年年齢の変更や理由、権利と責任などについて、考えようとしている。	○	○	○	7
B 単元名: 子どもとかわる 【知識・技能】 ・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要性を認識する。 ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を学ぶ。 ・子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることを理解する。 ・手縫いで簡単な幼児のおもちゃの製作ができる。 (はさめるマスコット) 【思考・判断・表現】 ・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。 ・遊びの影響や種類を理解し、今日の課題解決に向けた行動を挙げることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもとの交流を通して、遊びが豊かになるよう工夫することができるようにする。 ・家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。単元	・指導事項 1節 子どもの誕生 2節 からの発達 3節 運動機能の発達と知的発達 4節 かかわりのなかの発達 5節 子どもの生活習慣と健康 6節 子どもの食生活・衣生活 7節 子どもと遊び 8節 親になることを考えよう 9節 すこやかに育つ環境と支援 10節 子どもを守る法律・制度 妊婦体験 はさめるマスコット製作 ・教材 ・妊婦体験セット ・プリント ・新生児人形 ・乳児・幼児の動画 ・は冷めるマスコット見本 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要性を認識することができる。 ・妊婦体験を通して、妊婦の体の特徴を理解する。 ・誕生から幼児期までの子どものからの発達について理解する。 ・運動機能の発達と知的発達について理解できる。 ・幼児のおもちゃ(は冷めるマスコット)を製作する。 【思考・判断・表現】 ・発達段階に応じた子どもの基本的な生活習慣や社会的な生活習慣とその重要性について理解できる。 ・子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えることができる。 ・現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・妊婦体験を通して、妊婦への接し方について考え行動しようとする。 ・子どもの発達段階を考えたおもちゃを作成しようとしている。 ・保育実習などにおいて、子どもと関わろうとしている。 ・自分の現在・将来と結びつけながら、考え、学習しようとしている。	○	○	○	10
C 単元名: 高齢者とかわる 【知識・技能】 ・高齢社会の現状を理解するとともに、高齢者への理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・ボディメカニクスについて理解し介護の実態を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとしている。単元単元名: 衣生活をつくる	・指導事項 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者のサポートと介護の心 4節 高齢社会を支えるしくみ 高齢者体験 ・教材 ・プリント ・高齢者体験セット ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し、その変化については個人差があることも理解できる。 ・高齢者にとって家族とはどのような存在なのか、高齢者の経済状況や社会参加状況などについて理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ボディメカニクスについて理解し、介助実習を行っている。 ・認知症の症状と接し方について理解し、相手のことを理解しようとし、支えられる側から、支える側になっていこうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとしている。	○	○		4
D 【知識・技能】 ・基礎縫い(手縫い)の実習を通して、技術を習得する。	・指導事項 基礎縫い練習 基礎縫いテスト ・教材 ・プリント ・基礎縫い動画 ・基礎縫い見本	【知識・技能】 なみ縫い・本返し縫い・まつり縫い・ボタン付けができる。	○	○	○	4
定期考査 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解して	期末テスト	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解している。	○	○		1
E 単元名: 衣生活をつくる 【知識・技能】 ・衣服の機能を理解する。 ・繊維の種類と特徴について理解する。 ・糸と布の種類・構造について理解する。 【思考・判断・表現】 ・衣服素材の性能について理解し、衣服の入手から処分まで、衣生活を計画的に考えられるようになる。 ・衣服を購入する際の表示の見方がわかる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の方法や注意点を理解する。 ・家庭洗濯の方法とポイントを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。単元	・指導事項 1節 人と衣服のかかわり 2節 健康で安全な衣服 3節 衣服素材の種類と特徴 4節 衣服素材の性能と改善 5節 衣生活の計画と購入 6節 衣服の管理 7節 家庭での洗濯・保管8節 持続可能な衣生活をつくる ・スウェーデン刺繍の製作 ・教材 ・プリント ・繊維、織物の映像 ・衣類の手入れの動画 ・スウェーデン刺繍の見本 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自然環境と衣服のかかわり、社会環境と衣服の関係から、衣服が持つ機能を理解することができる。 ・繊維の種類と特徴と用途が理解できる。 ・織物・編物の種類や構造が理解できる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の種類や、洗剤のはたらきについて理解できる。 ・アイロンを適切にかけることができる。 ・スウェーデン刺繍の製作ができる。 【思考・判断・表現】 ・快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。 ・衣服の購入の際、自分のサイズを把握し、表示から必要な情報を読み取ることができる。 ・衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身につけ、衣服管理において適切な判断ができる。 ・アイロンを適切にかけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験に積極的に参加しようとしている。	○	○	○	7

年間授業計画 様式(新学習指導要領対応)

蔵前工科 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 工業 科目 工業技術基礎

教科:工業 科目:工業技術基礎 単位数:2単位

対象学年組:第2学年AE組

使用教科書:(工業技術基礎【実教出版】)

教科 工業 の目標:

【知識及び技能】 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 工業に対する課題を発見し職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的な力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 工業技術基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の専門用語を理解し、安全に対する知識と建設系の道具類の正しい使用方法とメンテナンスの技能について習熟する。	安全性を第一に考えて行動することを徹底し、それに基づいた道具の使用方法を選択できるようにする。課題を完成させること。そのために必要だった知識や活動について、他者に的確に表現できるようにする。	会話(他者への伝達)に必要な建設に関する用語を理解し正確に伝達できるよう努めること。多くの人々との関係性から成り立つ作業や構築物の完成に至る過程について、よく理解し、互いに協力し合って取り組む姿勢を養うようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価			配当 時数
			知	思	態	
1 学期 A 単元「電気工事」 屋内配線の基礎・基本となる電気工事に関する技術や技能を習得させる。 定期考査(中間考査)	使用教科書「工業技術基礎」 ・電気とは ・交流、直流について ・電流、電圧、電力について ・負荷について ・点滅器について ◎ 一灯点滅回路の製作 ◎ パイロットランプの同時点滅、異時点滅、常時点滅回路の製作	【知識・技能】 ・正しい作業姿勢を取ることができる。 ・安全に工具を使用できる。 ・専門用語を使用しようとしている。 【思考・判断・表現】 正しい作業姿勢を取ることができる。安全を確保した動作をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい服装をしている。・挨拶しようとしている。 ・返事ができる。・掃除ができる。	○	○	○	13
	定期考査(期末考査)					
2 学期 B 単元「電気工事」 屋内配線の基礎・基本となる電気工事に関する技術や技能を習得させる。 定期考査(中間考査)	使用教科書「工業技術基礎」 ◎ 二灯点滅回路の製作 ◎ 三灯点滅回路の製作 ◎ 三路スイッチによる点滅回路の製作 ◎ 四路スイッチによる点滅回路の製作 ◎ 第二種電気工事の過去問題の製作	【知識・技能】 ・正しい作業姿勢を取ることができる。 ・安全に工具を使用できる。 ・専門用語を使用しようとしている。 【思考・判断・表現】 正しい作業姿勢を取ることができる。安全を確保した動作をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい服装をしている。・挨拶しようとしている。 ・返事ができる。・掃除ができる。	○	○	○	13
	定期考査(期末考査)					
3 学期 C 単元「測量」 測量に関する基礎・基本となる知識を身に付け、技能・技術を習得させる。 定期考査(中間考査)	使用教科書「工業技術基礎」 ◎ 巻尺による距離の測量 ◎ レベルによる水準測量	【知識・技能】 ・正しい作業姿勢を取ることができる。 ・安全に工具を使用できる。 ・専門用語を使用しようとしている。 【思考・判断・表現】 正しい作業姿勢を取ることができる。安全を確保した動作をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい服装をしている。・挨拶しようとしている。 ・返事ができる。・掃除ができる。	○	○	○	14
	定期考査(期末考査)					
D 単元「測量」 測量に関する基礎・基本となる知識を身に付け、技能・技術を習得させる。 定期考査(中間考査)	使用教科書「工業技術基礎」 ◎ セオドライトによる測量	【知識・技能】 ・正しい作業姿勢を取ることができる。 ・安全に工具を使用できる。 ・専門用語を使用しようとしている。 【思考・判断・表現】 正しい作業姿勢を取ることができる。安全を確保した動作をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい服装をしている。・挨拶しようとしている。 ・返事ができる。・掃除ができる。	○	○	○	14
	定期考査(期末考査)					
E 単元「環境測定」 環境に関する様々な測定の基礎・基本を通じて、より良い設備環境の在り方を学ぶ。 定期考査(学年末考査)	使用教科書「工業技術基礎」 ◎ 照度の測定とデータ処理 ◎ 騒音測定とデータ処理 ◎ 空気環境測定とデータ処理 ◎ 温度・湿度の測定とデータ処理	【知識・技能】 ・正しい作業姿勢を取ることができる。 ・安全に工具を使用できる。 ・専門用語を使用しようとしている。 【思考・判断・表現】 正しい作業姿勢を取ることができる。安全を確保した動作をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい服装をしている。・挨拶しようとしている。 ・返事ができる。・掃除ができる。」	○	○	○	16
	定期考査(学年末考査)					
合計						70

年間授業計画 様式(新学習指導要領対応)

東京都立麻布台高等学校 令和5年度(2学年用)教科 工業 科目 建築工学製図(設備工業系選択)

教科:工業 科目:建築工学製図(設備工業系選択) 単位数:2単位

対象学年組:第2学年AE組
使用教科書:高等学校用 設備工業製図

教科 工業 の目標:

- 【知識及び技能】 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業に対する課題を発見し職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的な力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 建築工学製図(設備工業系選択) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
木造2階建住宅の給排水・ガス設備に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築設備製図に関する諸図面を正確に作成する技術や技能を身に付け、実社会で活用することを理解している。	木造2階建住宅の建築構造や建築計画に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設備計画や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指す。自ら思考し、判断し正確に表現する能力を身に付けるとともに、その成果で各設備の図面を適切に表現することを考えている。	設備図面の構成と実際の建築物の生産・施工過程に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、自らの学習状況を把握し、学習計画に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当時数	
1学期	A 単元「木造2階建平面図の作成」 【知識及び技能】 建築図面のはたらきとなりたち、建築設備図の種類、各設備図の基となる平面図の作図に関する技法について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 平面図の作図に関わる技法について、作業をとおして課題を発見し、工夫し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 平面図の作図をとおして、自らの作業効率・スピード等を体験的に学び、根気強く取り組む態度を養う。	・指導事項 建築物の図面の目的と意義 設備図面のはたらき 建築設備図の縮尺(1/50)と表現(1/100) 裏トレースについて	【知識・技能】 建築図面のはたらきとなりたち、建築設備図の種類、各設備図の基となる平面図の作図に関する基礎的な知識を身に付け、図面を作成する意義について理解している。 【思考・判断・表現】 平面図の作図の各過程について思考・判断できる能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 平面図の作図の各過程について関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	18
	B 単元「木造2階建平面図の裏トレース」 【知識及び技能】 設備図作成のための裏トレースの作業の意義と原理、具体的な作業の手順について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 設備図作成のための裏トレースの作業の意義と原理、具体的な作業の手順について、実作業をとおして課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 設備図作成のための裏トレースの作業の意義と原理、具体的な作業の手順について自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 設備図作成における裏トレースの必要性 裏トレース作成の意義と原理 トレーシングペーパーの表と裏、扱い方 裏トレースの方法と表現内容 ・教材 高等学校用 設備工業製図(文部科学省) 担当教員作成の見本図面 ミラーコピー機能付きコピー機 トレーシングペーパー	【知識・技能】 裏トレースの手順をよく理解し、トレーシングペーパーの扱いをわきまえている。 【思考・判断・表現】 一つ一つの手順を注意深く確認しながら、正確に作業を進めることができ、適切な筆圧で裏トレースをすることを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 初めての作業内容と、紙(トレーシングペーパー)について粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	8
	C 単元「木造2階建住宅 系統図」 【知識及び技能】 木造2階建住宅のガス、給水、給湯、排水設備の系統について理解させ、設備系統図作成の技能を身に付けさせる。 ・教材 高等学校用 設備工業製図(文部科学省) 担当教員作成の見本図面	・指導事項 給排水系統図の表現方法 給排水設備の記号、管径の大小の理解 ドラフターの使い方 ・教材 高等学校用 設備工業製図(文部科学省) 担当教員作成の見本図面	【知識・技能】 給排水設備の事項を確認し、管径の大小がイメージできる。 給排水設備に係る記号を理解している。 給排水設備図の見本を参照しながら、配管系統図が作図できる。 【思考・判断・表現】 一つ一つの手順を注意深く確認しながら、正確に作業を進めることができ、適切な筆圧で裏トレースをすることを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 初めての作業内容と、紙(トレーシングペーパー)について粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	8
定期考査(期末考査)			○	○			
2学期	D 単元「木造2階建住宅給水・給湯・ガス設備1・2階配管平面図」 【知識及び技能】 水道本管から機器までの給水配管経路、ガス給湯器からの給湯の経路、ガス本管から機器までのガス配管経路について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 給水、給湯、ガスの配管経路について課題を発見し、図面上にわかりやすく表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 給水、給湯、ガスの配管経路の図面への表現について、取り組む態度を養う。	・指導事項 給水給湯ガスの配管を正確に標記させる。 機器の記号、仕様を正確に標記させる。 1階から2階への配管を正確に書かせる。 ・教材 高等学校用 設備工業製図(文部科学省) 担当教員作成の見本図面 ・ドラフターをスムーズに使いこなす技法	【知識・技能】 給水、給湯、ガス設備のなりたちを理解し、配管経路がイメージできる。 給水・給湯設備、ガス設備に係る記号や標記を理解している。 配管系統図を参照しながら、配管が作図できる。 【思考・判断・表現】 給水、給湯、ガスの配管を注意深く確認しながら、正確に書き分けて作業を進めることができる。1階から2階への階をまたぐ配管の表現を、ドラフターを活用して適切な表現で表すことを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 系統図と給水・給湯・ガス設備1・2階配管平面図の関連性を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	10
	E 単元「木造2階建住宅 雨水・排水・汚水1・2階配管平面図」 【知識及び技能】 屋根から雨水枦までの雨水の経路、機器からの雑排水や汚水の経路、経路の合流とますの種類の区別について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 雨水、雑排水、汚水の配管経路とますについて課題を発見し、図面上にわかりやすく表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 雨水、雑排水、汚水の配管経路とますの図面への表現について、取り組む態度を養う。	・指導事項 排水の配管とますを正確に標記させる。 機器の記号、仕様を正確に標記させる。 2階から1階への配管、雨樋を正確に書かせる。 ・教材 高等学校用 設備工業製図(文部科学省) 担当教員作成の見本図面 ・ドラフターをスムーズに使いこなす技法	【知識・技能】 雨水、排水・汚水配管のなりたちを理解し、配管経路がイメージできる。 ますの種類と標記、配管や機器に係る記号や標記を理解している。 【思考・判断・表現】 排水経路を注意深く確認しながら、正確に書き分けて作業を進めることができる。2階から1階への階をまたぐ配管の表現を、ドラフターを活用して適切な表現で表すことを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 雨水・排水・汚水1・2階配管平面図と各図面との関連性を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	10
3学期	E 単元「木造2階建住宅 空調・換気設備1・2階配管平面図」 【知識及び技能】 空調機器の原理、各室の用途別換気設備の種類、空気と冷媒の経路について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 空調機器の原理、各室の用途別換気設備の種類、空気と冷媒の経路課題を発見し、図面上に明確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 空調機器の原理、各室の用途別換気設備の種類、空気と冷媒配管の平面図への表現について、取り組む態度を養う。	・指導事項 各室の空調・換気の方針と使用機器、配管の経路を正確に理解させる。 機器の記号・仕様、配管のサイズと経路を正確に標記させる。 1・2階間の配管を正確に書かせる。 ・教材 高等学校用 設備工業製図(文部科学省) 担当教員作成の見本図面 ・ドラフターをスムーズに使いこなす技法	【知識・技能】 各室の空調・換気の方針と使用機器、配管の経路を正確に理解させ、機器の記号・仕様、配管のサイズと経路を正確に標記させる。 【思考・判断・表現】 各室の空調・換気の方針と使用機器、配管の経路を注意深く確認しながら、機器の記号・仕様、配管のサイズと経路を正確に書き分けて作業を進めることができる。階をまたぐ配管の表現を、ドラフターを活用して適切な表現で表すことを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各室の空調・換気の方針と使用機器、配管の経路、機器の記号・仕様、配管のサイズと経路を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	16
						合計	
							70

年間授業計画 様式(新学習指導要領対応)

東京都立麻布工科 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 工業 科目 建築構造A(設備工業系選択)

教科: 工業 科目: 建築構造A(設備工業系選択) 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年AE組

使用教科書: (建築構造【実教出版】)

教科 工業 の目標:

- 【知識及び技能】 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業に対する課題を発見し職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的な力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会のを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 建築構造A(設備工業系選択) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A 単元「建築構造のあらし」 【知識及び技能】 建築構造の歴史的発達、建築構造のなりたち、建築物に働く力及び関連する法規と規程について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築構造の歴史的発達、建築構造のなりたち、建築物に働く力及び関連する法規と規程について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築構造の歴史的発達、建築構造のなりたち、建築物に働く力及び関連する法規と規程について自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 建築物の歴史的発達 建築構造のなりたち 建築物に働く力 関連する法規と規程 ・教材 教科書 建築構造(実教出版) powerpointによる授業資料 youtubeなどによる動画 ・一人1台端末の活用 powerpointによる授業資料の確認 youtubeなどによる動画の視聴 Formsなどによる学習の振り返り	【知識・技能】 建築構造の歴史的発達、なりたち、分類、建築物に働く力、関連する法規や規程に関する基礎的な知識を身に付け、身近な建築物や歴史的建築物が関わる社会的環境や意義について理解している。 【思考・判断・表現】 建築構造の歴史的発達、なりたち、分類に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、それぞれのなりたちや分類について思考・判断できる能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 建築構造の歴史的発達、なりたち、分類、建築物に働く力、関連する法規や規程に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B 単元「木構造(構造の特徴～木材の接合)」 【知識及び技能】 木構造の特徴と構造形式、木材、木材の接合について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の特徴と構造形式、木材、木材の接合について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の特徴と構造形式、木材、木材の接合について自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 構造の特徴と構造形式 木材 木材の接合 ・教材 教科書 建築構造(実教出版) powerpointによる授業資料 youtubeなどによる動画 ・一人1台端末の活用 powerpointによる授業資料の確認 youtubeなどによる動画の視聴 Formsなどによる学習の振り返り	【知識・技能】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識を習得し、こんちの技術の観察をふまえ、木構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。 【思考・判断・表現】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考え、自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、これらの習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査(中間考査)			○	○		1
	C 単元「木構造(基礎～軸組)」 【知識及び技能】 木構造の基礎、軸組について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の基礎、軸組について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の基礎、軸組について自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 基礎 軸組 ・教材 教科書 建築構造(実教出版) powerpointによる授業資料 youtubeなどによる動画 ・一人1台端末の活用 powerpointによる授業資料の確認 youtubeなどによる動画の視聴 Formsなどによる学習の振り返り	【知識・技能】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識を習得し、こんちの技術の観察をふまえ、木構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。 【思考・判断・表現】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考え、自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、これらの習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	12
定期考査(期末考査)			○	○		1	
2 学 期	D 単元「木構造(小屋組～仕上げ)」 【知識及び技能】 木構造の小屋組、床組、階段、外部仕上げ、内部仕上げについて理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の小屋組、床組、階段、外部仕上げ、内部仕上げについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の小屋組、床組、階段、外部仕上げ、内部仕上げについて自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 小屋組 床組 階段 外部仕上げ 内部仕上げ ・教材 教科書 建築構造(実教出版) powerpointによる授業資料 youtubeなどによる動画 ・一人1台端末の活用 powerpointによる授業資料の確認 youtubeなどによる動画の視聴 Formsなどによる学習の振り返り	【知識・技能】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識を習得し、こんちの技術の観察をふまえ、木構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。 【思考・判断・表現】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考え、自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造のうち、おもに在来軸組構法の構造形式や構成部材、および木構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、これらの習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	6
	E 単元「鉄筋コンクリート構造(構造の特徴～基礎)」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式、鉄筋、コンクリート、基礎について理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式、鉄筋、コンクリート、基礎について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式、鉄筋、コンクリート、基礎について自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 構造の特徴と構造形式 鉄筋 コンクリート 基礎 ・教材 教科書 建築構造(実教出版) powerpointによる授業資料 youtubeなどによる動画 ・一人1台端末の活用 powerpointによる授業資料の確認 youtubeなどによる動画の視聴 Formsなどによる学習の振り返り	【知識・技能】 鉄筋コンクリート構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識を習得し、こんちの技術の観察をふまえ、鉄筋コンクリート構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。 【思考・判断・表現】 鉄筋コンクリート構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考え、自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、これらの習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査(中間考査)			○	○		1
	F 単元「鉄筋コンクリート構造(躯体～仕上げ)」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の躯体、仕上げについて理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の躯体、仕上げについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の躯体、仕上げについて自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 躯体 仕上げ ・教材 教科書 建築構造(実教出版) powerpointによる授業資料 youtubeなどによる動画 ・一人1台端末の活用 powerpointによる授業資料の確認 youtubeなどによる動画の視聴 Formsなどによる学習の振り返り	【知識・技能】 鉄筋コンクリート構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識を習得し、こんちの技術の観察をふまえ、鉄筋コンクリート構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。 【思考・判断・表現】 鉄筋コンクリート構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考え、自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、これらの習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	13
定期考査(期末考査)			○	○		1	
3 学 期	G 単元「鋼構造(構造の特徴～仕上げ)」 【知識及び技能】 鋼構造の特徴と構造形式、鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚、骨組、仕上げについて理解させ、関連する知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造の特徴と構造形式、鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚、骨組、仕上げについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造の特徴と構造形式、鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚、骨組、仕上げについて自ら学び、取り組む態度を養う。	・指導事項 構造の特徴と構造形式 鋼と鋼材 鋼材の接合 基礎と柱脚 骨組 仕上げ ・教材 教科書 建築構造(実教出版) powerpointによる授業資料 youtubeなどによる動画 ・一人1台端末の活用 powerpointによる授業資料の確認 youtubeなどによる動画の視聴 Formsなどによる学習の振り返り	【知識・技能】 鋼構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鋼構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識を習得し、こんちの技術の観察をふまえ、鋼構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。 【思考・判断・表現】 鋼構造のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鋼構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考え、自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼のうち、おもにラーメン構造の構造形式や構成部材、および鋼構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、これらの習得に向けて粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査(学年末考査)			○	○		1
合計						70	